



桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和3年10月22日
文責：校長 江上 知男

5年生が集団宿泊教室を実施しました！

全員で「ハイチーズ！」



初体験！ペーロン



5年生は、10月19日～20日にあしきた青少年の家で集団宿泊教室を行いました。心配したコロナは、「県リスクレベル3」に下がり、新規感染者も減少した状況になりました。また、自然体験活動ですので天候を気にかけていましたが、幸い2日間とも予定どおり活動ができました。

さて、宿泊教室の出発にあたり、子どもたちには2つのこと(目的)を話しました。

- ① 普段なかなか行けない海に行くことから、体験活動をしっかり楽しんできて欲しい。
- ② 集団で行動することから、正しいと思える行動を一人一人が考えて実行してきて欲しい。

宿泊教室は、子どもたちにとってどうしても必要な行事です。それは「体験なくして成長なし！」と考えるからです。「ペーロン体験」「ナイトゲーム(いわゆる『肝試し』)」「ウォークラリー」等々、通常の学校生活では体験できないことを楽しむことも貴重でしたが、みんなで食事したり入浴したり部屋で過ごしたりする「スキマの時間」は、もっと重要でした。自分の事だけでなく、友達や全体のこと…「相手意識」を持つことが求められるからです。

それにしても5年生…、宿泊教室の翌日の学校生活では、疲れているにも関わらず「学習に集中する姿」が大きく変わったようで、複数の先生がビックリしていました。きっと、目的意識を持ち、友達との絆を深めた2日間だったのでしょう。「体験が子どもたちを変えた」と思います。今回の実施にあたり、ご理解とご協力をいただいた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。

「ありがとう」が言える子に ある日の我が家の出来事…。母親が畳んだ洗濯物を、自分のついでに息子(大学3年)の部屋運ぶと、溜まったレポートにイライラした息子は「自分で運ぶけん、放っておいて!」の言葉…。カチンときた私は「人からしてもらったら、『ありがとう』だろうが!」と不穏な雰囲気になりました。いくつになっても成長しない親子です(涙)。

さて、人が言葉を使い始めてコミュニケーションがとれるようになるのは、3才くらいだそうです。「パパ・ママ」「まんま」など、自発的に覚える本能的な欲求を伝える言葉を除いて、**親が赤ちゃんに最初に教えるべき言葉は何でしょうか。**アメリカでは、「Please(どうぞ!)=これは、アメリカでは生まれた赤ちゃんに2番目に教える言葉です!」という電車内の広告があったそうです。併せて、「1番目や3番目は?」ということが話題になりました。アメリカでは、「サンキュー(ありがとう)」が1番目で「ユアウェルカム(どういたしまして)」が3番目とのことです。「サンキュー(感謝)」→「プリーズ(思いやり)」→「ユアウェルカム(謙虚)」の順番に、まだ言葉の意味も分からない時期から教えるのだそうです。

私は、我が子にはどちらかと言えば「他人を大事にする言葉」よりは「自分の欲求を満たす言葉(ちょうだい等々)」を多く教えてきたような気がします。ですから、前述の親子げんかです(汗)。

他人との関わりのない生活など考えられません。改めて学校や家庭や地域において、「ありがとう」の言葉を大切にしなければならぬと考えるのですが、いかがですか?